

## 会報・案内

### 平成14年度第8回理事会議事録

日時：平成14年12月25日(水)14:00～17:00  
 場所：学士会館赤門分館 3号室  
 出席：小西淳二会長，板井悠二総務理事，石垣武男，  
 遠藤啓吾，久保敦司，田村正三，松井 修，  
 中村仁信，早淵尚文，西谷 弘，杉村和朗，  
 山田章吾各理事 渡会二郎第38回秋季臨床大会長，  
 中尾宣夫第39回秋季臨床大会長  
 欠席：隈崎達夫理事，阿部公彦，大友 邦監事  
 議事：

1. 前回議事録の承認
2. 第62回日医放総会について
  - ・会長報告
  - ・優秀論文賞受賞者について
3. 第38回秋季臨床大会報告
4. 第39回秋季臨床大会について
5. 将来計画委員会(選挙制度，各種委員会)
6. 学会雑誌について
7. 定款の変更
8. 会計について
9. 学会内規について
10. 医療用標準線量計研究会の線量測定事業について
11. 地方会抄録受付UMIN利用について
12. JRCについて
13. 医学物理士認定制度規約について
14. 専門医修練機関の外国留学中における算定について
15. 御園生賞について
16. 会告の承認
  - 12月号(事後) 第41回生物部会学術大会のお知らせ
  - 1月号 第39回日本医学放射線学会  
 秋季臨床大会案内  
 第15回優秀論文賞について  
 第14回放射線科専門医認定  
 一次試験について  
 第12回放射線科専門医認定  
 二次試験について

#### 報告事項

1. 専門医連絡協議会報告
2. 医学物理連絡協議会
3. 各委員会報告
  - ・健保・健保実行合同委員会
  - ・防護委員会
  - ・将来計画委員会
  - ・広報委員会

- ・医療事故防止委員会
  - ・教育委員会
  - ・乳房撮影委員会
  - ・編集委員会報告
4. その他  
 議事：
1. 前回議事録の件  
 第7回理事会議事録を承認した。  
 前回議事録が承認され，会計契約の異議申し立てを行った件について報告がなされた。
  2. 第62回日医放総会について
    - 1) 小西会長より第62回総会の準備状況について資料に基づき，日本医学放射線学会，日本放射線技術学会との合同企画内容，国際シンポジウムのタイトルと演者と司会者の決定，また国内からの総会演題応募演題数は873題，うち採択843題，International Session 海外31題，国内26題合計57題の応募があったとの報告がなされた。
    - 2) 優秀論文賞受賞者について  
 小平 毅君，田嶋 強君，新本 弘君の3名に決定した。
    3. 第38回秋季臨床大会報告  
 渡会会長より約1030名の参加者があった。PC利用についてはその運用にあたっての機材・予算・人員運用マニュアル化が必要，参加者から他科の教育講演に人気があったこと，質疑時間をもう少し長くしてほしい等のアンケート意見結果があった。アンケートの集計結果を教育委員会へ提出の予定である旨報告がなされた。
    4. 第39回秋季臨床大会について  
 中尾大会長より第39回秋季臨床大会の説明がなされた。会期は平成15年10月9，10，11日，会場は神戸ポートピアホテルにて開催の予定
    5. 将来計画委員会(選挙制度・各種委員会)  
 早淵担当理事より，各種委員会委員の選出基準改正案(原則として委員長は担当理事が担当。任期は4年。再任は原則禁止)をまとめたものをメールマガジンで会員の意見を求めている旨の報告がなされた。中村担当理事より，日医放選挙制度について中間報告がなされた。代議員への立候補資格案について説明がなされた。理事会で検討後，代議員会への出席率なども選出方法のひとつに加えることを検討，選挙管理委員会規約(内規)，選挙管理委員の選出方法，等について再度委員会で検討頂くこととした。
    6. 学会雑誌について  
 継続審議事項である学会雑誌について，メディカルトリビューン社からだされた出版業務委託基本契約案および年間出版費用見積もり，メディカルトリビューン社，板井総務理事，隈崎会計理事との話し合いの経過について板井総務理事より説明がなされた。理事会で検討後，学会経費の問題があるので，来年度からの

英文誌6号、邦文誌6号の発行については継続審議、メディカルトリビューン社への委託内容の見直しも含め、再度メディカルトリビューン社との話し合いを久保編集委員長も含めおこなうことを確認した。

7. 定款の変更について

遠藤庶務担当理事より定款の変更について説明がなされた。

文部科学省より理事数増員について理由書を提出するように指示があり提出したとの報告がなされた。

また理事数、代議員数について検討した結果、定款が承認された場合には、理事16名、代議員250名(うち選挙220名、推薦30名)とすることとした。

8. 会計について

今年度名簿を発行すると赤字となるので来年度に繰り越したいとの報告がなされこれを承認した。来年度の活動の中で選挙、専門医修練機関、修練協力機関認定の事業があるがこれらの事業内容についても見直しの必要がある。専門医修練機関、協力機関認定については専門医認定委員会で検討いただき実費のみ請求する方向で検討することとした。

9. 学会内規について

遠藤庶務理事より文部科学省から学会内規を作成するよう指導があった件について説明がなされた。

会計処理規則案、事務処理規則案、就業規則案、公印取扱規則案について資料が出され、次回理事会で再度検討することとした。

10. 医療用標準線量計研究会の線量測定事業について

山田担当理事より医療用標準線量研究会将来問題の検討結果についての星会長からの回答について説明がなされた。線量測定研究会としては基本的には日医放の傘下で活動をおこなう、法人化を考えているが、法人への形態については次期会長の遠藤真広氏が中心となり検討をおこなっている状況であるとの報告がなされた。

11. 地方会抄録受付UMIN利用について

西谷理事より地方会の演題受付を各地方会で行なっている形式を統一すればUMINが使用できるので是非そのようにしてはどうかとの提案がなされた。理事会で検討後、演題受付については問題がないが抄録の受付に多少地方会ごとに違いがあるので、その点も含め再度UMINに確認を取り、検討することとした。

12. JRCについて

板井総務理事より、JRCと日医放との現状問題としてJRCの中間法人化、JRCの理事として長く就任できる理事の推薦、総会の日医放との委託契約のJRCからの要望等について説明がなされた。総会の開催表現も含めこの件については継続審議とすることとした。

13. 医学物理士認定制度規約について

前回の理事会で検討された医学物理士認定制度の一部変更について山田担当理事より説明がなされ、理事会で検討後これを承認した。

14. 専門医修練機関の外国留学中における算定について

杉村理事より海外留学中の専門医修練認定についての提案が出された。

理事会で検討後これについては専門医認定委員会で検討いただ

くこととした。

15. 御園生賞について

奨励賞について1名の推薦が出されたが業績が放射線影響と関連が薄いとの意見等がなされ会長に一任することとした。

16. 会告の承認

12月号(事後) 第41回生物部会学術大会のお知らせ  
1月号 第39回日本医学放射線学会  
秋季臨床大会案内  
第15回優秀論文賞について  
第14回放射線科専門医認定  
一次試験について  
第12回放射線科専門医認定  
二次試験について

専門医試験の会告の中に症例登録の件を加えることを確認した。

17. その他

・遠藤庶務担当理事より次々々期会長に二名の立候補者があったとの報告がなされた。会長選挙については予定通りの日程で行うことを確認した。

・名誉会員推薦方法について審議された。今年度は従来通り行う、次年度から推薦方法について検討することとした。

報告事項

1. 専門医連絡協議会報告

基本領域に救急リハビリ整形外科が加わった。専門医試験の研究期間についてローテーション期間も修練機関に入れるか等の問題が審議されている。この件については専門医認定委員会で審議することとした。

2. 医学物理連絡協議会

3. 各委員会報告

秋季大会議事録から下記委員会活動報告

- \_\_ 健保・健保実行合同委員会
- \_\_ 防護委員会
- \_\_ 将来計画委員会
- \_\_ 広報委員会
- \_\_ 医療事故防止委員会
- \_\_ 教育委員会
- \_\_ 乳房撮影委員会
- \_\_ 編集委員会報告

4. その他

田村理事より札幌で起きた医療事故のその後について経過報告がなされた。

## 学会・研究会等のお知らせ

1. 第11回日本MRA研究会  
会長 竹田 寛
2. 平成15年 5月24日(土)
3. 三重県津市 アスト津
4. 要望演題
  - 1) MRAの有用性や問題点に関する報告
  - 2) MRAの撮像方法や影像法方法についての工夫や新しい試み
  - 3) MRAとCTAの対比に関する報告
  - 4) MRAが診断や治療法の選択, 治療効果判定に有用であった症例
  - 5) MRAのピットフォールと考えられた症例
6. 演題送付先 housya@clin.medic.mie-u.ac.jp
7. 演題締め切り 平成15年 3月29日(金)
8. 問い合わせ先  
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174  
三重大学医学部放射線医学教室  
第11回日本MRA研究会事務局 佐久間 肇  
TEL : 059-231-5029 FAX : 059-232-8066

1. 第18回日本生体磁気学会大会
2. 2003年 5月30日(金), 31日(土)
3. 池田市文化会館(〒563 0031 大阪府池田市天神 1-7-1)
4. 会長: 外池 光雄(産業技術総合研究所)
5. 問合先: 〒863 8577 大阪府池田市緑丘 1-8-31  
産業技術総合研究所ライフエレクトロニクス研究ラボ内  
第18回日本生体磁気学会大会事務局

## 平成15年度医用原子力技術に関する研究助成 募集要項

1. 助成対象分野:
 

医用原子力技術研究における基礎的研究とともに, 診断技術に関する研究開発, 治療技術に関する研究開発並びに薬剤等の研究開発を助成の対象分野とする.

平成15年度の助成対象テーマ:

  - 腫瘍標的放射性薬剤を用いた診断と治療に関する研究
  - 四次元放射線治療技術の開発に関する研究
  - 中性子捕捉療法の新しい展開に関する研究
2. 助成対象者:
 

助成対象者は, 我が国の医用原子力技術研究に従事する大学, 病院, 研究機関等に所属する研究者(40歳以下)又は研究グループ(主たる研究者が40歳以下)とし, 推薦者からの申請を, 当財団の選考委員会において選考の上, 役員会の承認を得て決定する.
3. 助成件数及び金額:
 

平成15年度の研究助成件数は5件以内, 助成金額は1件100万円とする.
4. 応募方法:
 

助成の申請は, 候補者の所属する機関の長(学長, 学部長又は機関の代表者)又は当財団が組織する役員会, 他委員会等に所属する委員による推薦とする. ただし, 当財団選考委員会委員は, 推薦者から除くこととする.
5. 推薦書提出期限:
 

平成15年 5月6日(火)当日消印有効)

必要書類の請求等, 問い合わせは下記財団事務局までお願いします.

(財)医用原子力技術研究振興財団  
電話: 03-3504-3961  
FAX: 03-3504-1390